

アキアカネ

中ぐらいの大きさのアカトンボの仲間です。6月の終わりごろから12月まで見られます。

主に田んぼに生息しますが、幼虫は学校のプールでよく見つかります。

体の色は未熟なうちはオス、メスともに全体がオレンジ色がかった黄色ですが、成熟するとオスは腹部の背中側が赤くなります。ナツアカネに比べるとやや朱色がかっています。

産卵は稲刈りの済んだ田んぼの、浅く水がたまっているような所を選び、多くの場合オスとメスが連結したまま、水際の泥に復端を打ち付けるようにして行います。

富士市での現状

主に平地の田んぼ周辺で見られます。秋の初めころには、須津川上流域の低山地帯でも見られます。

幼虫は市内の調査した小学校プールのすべてから見つかりました。



アキアカネを確認したメッシュ

